

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2017年 4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2017年 4月1日発行 通巻288号

春山は、気候の変化と
残雪に注意しよう

4月号目次

・ 目次	2
・ 2月理事会報告	3
・ 第33回ロングハイク報告	4
・ キリマンジャロ登山案内	5
・ NPOちば労山ゆう総会案内	6
・ 植樹祭参加お礼	7
・ ゆう便り	8
・ 植樹祭参加報告	10
・ 足尾植樹祭の案内	12
・ 県連たより	13
・ 4月・5月予定表	14

表紙説明

3月4日（土）5日（日）に、牡鹿半島谷川浜・洞福寺においてNPO法人「ちば労山ゆう」の植樹祭がありました。

住職を囲んで、現地の皆さん、工事関係者、千葉からの参加者の記念撮影です。皆さんの「寄付」で植えられた桜には、毎年花が咲くでしょう。

ぜひ、花を見に行ってください。

そして、被災地の復興を見て下さい。

□

2月理事会 報告

1. 日時 2017年 2月16日(木) 19時～

2. 場所 船橋市西部公民館

3. 議事

(1) 委員会報告

ハイキング委員会より 房総ロングハイクは43名が参加して無事終了。

(2) 予・欠算報告

今期決算、来季予算案が会計より報告された。各会が持ち帰って意見を集約し3月理事会で承認を図ることにした。

(3) 千葉アルパインクラブの解散による、退会の連絡。

組織数が前回報告の766名から12名減の754名になった。

(4) 第4回6会合同会議報告

① 実施日時、場所 2017年1月23日 19:00～ 千葉県連事務所

② 出席者 6会の代表者・理事・県連役員

・千葉こまくさハイキングクラブ	古瀬 健	・三辻 勝
・ちば山の会	平野 直子	・斎藤 一郎
・松戸山の会	桑原 年一	・丸山 宏
・船橋勤労者山の会	石川 昌	・桜庭 実
・ふわくハイキングサークル	中原 紀代治	・佐藤 勝子
・東葛山の会	安彦 秀夫	・高見 信明
・役員 広木会長、鶴田副理事長		

③. 議事及び決定事項

・6会が3役候補者を1名選出する件。

松戸山の会、船橋勤労者山の会の2会が候補者を選出してきた。

他の4会は候補者の選出が出来なかった。

・6会がそろって選出出来なかったため、選出した2会も撤回することになった。

今回、選出出来なかった会も早期に選出することが難しいとのことであった。

・当初目的とした3役の選出が出来なかったため、本件は理事会に戻すことにして6会合同会議は今回で終了する。

・理事会への戻し方については、いくつかの意見が出たが結論はでなかった。

(5) ちば労山ゆうからの報告。

・3月4日(土)5日(日)の植樹祭参加予定者は現在69名。

・第4期通常総会は4月13日(木)西部公民館で実施。

報告者 鶴田副理事長

・県連の現状を認識し、役員選出ルールを決定し、そのルールに基づき役員を選出を目的に6会合同会議を設定した。しかし、各会の現状や県連に対する認識の差が大きく意見の一致は出来なかった。年々、深刻になる組織数の減少や会員の高齢化・役員の後継者問題に取り組む事が急務である。この現状を打開するには、県連の総力を結集する以外にない。生き残りをかけて取り組む事が必要不可欠である。県連活動の立て直しに、各会の積極的な参加・協力をお願いします。

—— 県連会長・広木 国昭 ——

第33回ロングハイク終って

2016年1月28日～29日

実行委員長 ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

天気が最高で木漏れ日の森の中、全員無事完歩しました。風も無く歩道は乾いて歩きやすい、最高のハイキング日和になりました。44名の参加者でした。

私が到着した15時では、七里川温泉で先に到着した方々が囲炉裏を囲み歓迎して頂きました、松戸の水仙ロードは、ピークを過ぎて頼朝桜がちらほら咲いていたとのことでした。

17時30分から、恒例の委員長挨拶からガイダンスと安彦さんの50周年の活動報告がありました。その後、交流会のあと就寝、大部屋でゆっくり眠れました。

起床、6時30分から朝食をして、8時に松戸バスと7里川バスに分乗して清澄寺の駐車場に9時前に到着した。初めての参加者の為に清澄寺を参拝、千年杉を観た後、記念写真を撮り、9時15分イチョウの巨木を観て出発した。一杯水林道は、関東ふれあいの道で届け出なしで歩けます。ここでは、バリバリノキ、ヤブニッケイ、オニシバリなどの樹木と開けた処から安房小湊の海が見えます。9時50分、ツクバネガシの有るW0から入ると直ぐに難所の急登、急坂を慎重に歩く。向峰歩道は、演習林の東側の尾根で南に伸びる歩道です。モミ、ツガの天然林が凄い、アカガシ、ウラジロガシ、スダジイの巨木も初めての方には見応えが有る。烏帽子山々頂の直下で昼飯11時45分歩きだす、右側に朝歩いた電波塔や清澄寺の方向の仏舎利塔が見える。更に巨木のモミ、スダジイの他タイミンタチバナ、ヒメユズリハ、などが珍しい樹木と隆起した岩盤の上に生える樹木が繋がるモミの木が不思議に思える。W33 硯石から鶏毛山まで2回目の挑戦だ。このコースは、マテバシイの巨木が凄く多い。今回は鶏毛山から右へ向かい遠矢ヶ台を下りたが、今回は一気に民有地を下る。尾根道が急坂で荒れていて心配しましたが、コショウノキ（ジンチョウゲ科）も咲いたのを観た人の報告もありました。14時20分無事に坂本の駐車場にゴール出来ました。

栞の予定とほぼ同じ時間帯、いつも栞を作成してくれる吉沢さんに感謝している。ハイキング委員や各会参加者の皆様お疲れ様でした。



清澄寺で記念撮影



ツクバネガシの大木

緊急追加募集

＜海外登山へのお誘い＞

2017/3/27/Mon.

アフリカ大陸最高峰キリマンジャロ5895m登頂とサファリ13日間

千葉県勤労者山岳連盟 海外委員会

一次申込締切時点での参加者は、11名(男性6名、女性5名)でした。航空機の仮予約済みです。飛行機(復路)の予約状況が厳しい(残席僅少)…ということで、申込書が届き次第追加予約をします。

『①サファリありの13日間コース』で、出来る限り早めの申込みをお待ちしております。

アフリカまで行ったのですから、是非、サファリを楽しみましょう！

締め切り前に、航空機満席(格安チケット)になることが予想されます。

＜期 日＞ ①2017年9月19日(火)～10月1日(日)＜13日間＞サファリあり

②2017年9月19日(火)～29日(金)＜11日間＞サファリなし

＜費 用＞ ①約57万円(サファリあり) ②約50万円(サファリなし)

※燃油サーチャージ
別途必要になるかも…
(2月時点では、なし)

航空券往復、ホテル、チャーターバス、ビザ代/取得代行手数料
成田空港利用料、タンザニア出国税/空港税、食事(ほぼ全食、機内食含む)
登山関連(ガイド、サブガイド、ポーター、コック)、チップ、サファリ等の費用を含む

＜登山コース＞ レモシヨ・ルート(6泊7日、テント/2名1張) テントの運搬・設営は現地スタッフが行います。

①は、『タランギーレ国立公園』でサファリ観光(2泊3日、ロッジ泊)

＜募集人数＞ 5名 (原則先着順) 登山時、客1名にポーター1名付き、預け荷物15kgまで。

＜申込方法＞ 1)参加希望者は、申込先(安彦)まで『参加申込書』をメールにて請求してください。
メールには、必ず、『氏名』、『所属会名』、『携帯電話番号』等を記入願います。
2)申込みのメールが届きましたら、『キリマンジャロ登山参加申込書』をお送りします。
3)『キリマンジャロ登山参加申込書』に必要事項を記入し、申込先まで返信ください。
その際に、『パスポート(写真のある見開き2ページ)』のコピーも添付願います。

＜申込締切＞ 2017年4月10日(月) ※締切前に航空機満席の場合は、ごめんなさい！

＜問合せ・申込先＞ 安彦秀夫(あびこひでお) 東葛山の会 (千葉県連海外委員会事務局)

Eメール: mt25hm4abichan49@gmail.com (全て半角)

携帯電話: 090-5827-0571

(関心のある方は、先ずは一報を…！)

＜日程・13日間＞ 詳細日程は、参加者決定後、改めて現地旅行会社と調整します。

＜食事＞

日時	行 程 (→:飛行機、⇒:チャーターバス)	宿泊	朝/昼/夕
①9/19(火)	20:00 成田空港第1旅客ターミナル南ウイング カタール航空カウンター付近集合 成田空港発22:20(QR807)→ (歩行距離/時間) 飛行機 (キャンプ地) (機内食)	飛行機	-/-/機
②9/20(水)	→ドーハ03:30着(乗換)08:45発(QR1355)→キリマンジャロ空港14:40着 ⇒モシ (夕食:前夜祭) モシ	ホテル 約900m	機/機/●
③9/21(木)	モシ⇒ロンドロシ・ゲート(登山ガイド合流、入山登録) (7km/3～4hr) ⇒レモシヨグレーズ(2100m)荷物仕分け後ゆっくり登山開始 ムクブワ・キャンプ	テント 2780m	●/○/○
④9/22(金)	森を抜け、急勾配を登り、荒野ゾーンを通り、 (8km/4～5hr) シーラ・リッジを越えてシーラ・プラターのキャンプ地へ シーラ1・キャンプ	テント 3500m	○/○/○
⑤9/23(土)	高所順応を意識してゆっくり歩き、シーラ・プラターを (6km/3～5hr) 横切ってキャンプ地へ シーラ2・キャンプ	テント 3900m	○/○/○
⑥9/24(日)	4500mの順応を意識して、ラバ・タワー(4630m)まで登り、 (10km/7～8hr) その後、高度を下げてキャンプ地へ バランコ・キャンプ	テント 3960m	○/○/○
⑦9/25(月)	サドル(砂礫帯)のなだらかな道を歩き、 (8km/7～8hr) バランコ・ウォールの急斜面を登りキャンプ地へ バラフ・キャンプ	テント 4650m	○/○/○
⑧9/26(火)	午前0時出発。ジグザグの道を登りステラポイント(5740m)へ。 調子の良い人は、ウフルピーク(5895m)に登頂。 (19km/13～15hr) バラフ・キャンプに一気に下り、サドルを経てキャンプ地へ ムウエカ・キャンプ	テント 3080m	○/○/○
⑨9/27(水)	荒野ゾーン・森林ゾーンを経てムウエカ・ゲート(1680m)へ。 (10km/3～4hr) ⇒モシ(荷物回収)⇒アリューシャ (夕食:登頂祝杯) アリューシャ	ホテル	○/×/●
⑩9/28(木)	アリューシャ⇒タランギーレ国立公園(約3時間) 夕方、サファリ・ドライブ実施 タランギーレ	ロッジ	●/△/●
⑪9/29(金)	サファリ・ドライブ実施(8:00～17:00予定) タランギーレ	ロッジ	●/△/●
⑫9/30(土)	タランギーレ国立公園⇒キリマンジャロ空港(約4時間) キリマンジャロ空港発15:40(QR1355:ザンジバル経由)→ドーハ着23:20	飛行機	●/×/機
⑬10/1(日)	ドーハ発02:35(QR806)→成田空港着18:40 通関後解散	---	機/機/-

＜注＞食事 ●:ホテル又はレストラン、○:テント、機:機内食、△:ピクニック・ランチ、×:各自払い

※機内食は、軽食も含む。×は、今後交渉予定

※①の日程が、終日のサファリ・ドライブに変更になりました。

2017年3月31日

代表 吉田 哲治

第5期 「NPO 法人ちば労山ゆう」 通常総会開催のお知らせ

日頃より、ちば労山ゆう活動へのご参加・ご協力に感謝申し上げます。

大震災から6年になります。多くの仲間の声に押されて立ち上げた「ちば労山ゆう」の活動も、5年を経過しました。この間、多くの方に正会員・賛助会員になっていただき、我々の活動を支えてくださいました。手探りながらも、出来る限り、被災地・被災者に寄り添う支援活動を継続してこれましたのも、会員諸氏・団体及び善意の多くの個人の方々の熱い想いと支援の賜物だと深く感謝申し上げます。

この3月には牡鹿・谷川浜に桜の植樹と石碑を建立させていただきました。この「谷川浜・桜植樹の集い」はゆうの活動の一つの大きな区切りとして開催しました。被災地への支援活動も震災より6年が経ち、大きく変わってきています。ゆうの活動においては、参加者の減少と固定化が今年度は顕著になってきました。私たちの活動も大きな見直しの時がきたと思っています。今後の活動はどうあるべきか、みんなで考えてください。

NPO 会員のみなさまには、万障繰り合せてご出席いただきますようお願い申し上げます。

記

- 開催日時：4月13日（木） 19:00～20:30
- 開催場所：船橋市西部公民館 第4会議室
- 審議事項：1. 2016年度決算および活動報告
2. 2017年度予算および活動方針

開催場所案内

JR 下総中山駅、または京成中山駅から徒歩約7分



谷川浜・桜植樹の集いと募金の御礼

NPO 法人ちば労山ゆう

代表 吉田 哲治

この度は、当 NPO 主催の「谷川浜・桜植樹の集い」に多数ご参加いただき、本当にありがとうございました。地元の方も多く出席いただき、なごやかな雰囲気で開催することができたかなと思っています。

谷川浜からは、渥美谷川支所長を始め漁師さん、そのお孫さんたち 30 名近くの参加をいただきました。宮城県連の代表として岡良一理事長、そして千葉からはバス 2 台で 60 名、総勢で 100 名近くの参加で集いを開催することができました。

ふとしたきっかけで谷川浜と関わりを持つようになり、5 年になります。千葉より片道 500km の道のりは最初はとても遠く感じられたものですが、通ううちに地理的な遠さはあまり感じられなくなってきました。仲間のなかには、谷川浜を第二の故郷と思うようになってきた者もいると聞いています。そんな谷川浜に、桜植樹の集いとしてしだれ桜を 10 本、ソメイヨシノ 1 本、そして、鎮魂と私たちの思いを記した石碑の建立ができたのも、多くの方のご支援・ご協力の賜と感謝申し上げます。

植樹の場として快諾いただいた地元の菩提寺である洞福寺は、津波でほとんどが流されてしまいました。震災前の洞福寺は、写真でしか知ることはできませんがとても立派なお寺さんです。その洞福寺の本堂が今年の春に見事に再建されました。その再建された洞福寺に桜を植えさせていただいたことは、谷川の復興を願う私たちの想いにも通じるものがあります。これからも、植えた桜の成長を楽しみにしつつ、谷川の方々との交流を続けていきたいと思えます。

最後に、今回の桜募金の報告をさせていただきます。

3 月 31 日現在、個人で 66 名、3 の団体より 269, 000 円の募金をいただきました。石碑の建立と桜の植樹で、409, 046 円の費用がかかりました。不足の 140, 046 円はゆうの会計より補填させていただきます。本当にありがとうございました。



のり面に植えられたしだれ桜。鹿対策のため金網で囲っている。その前の金網は、以前植えた房総の日本スイセン。今年も可憐な花を咲かせてくれました。

【 谷川浜・桜植樹の集い 】

長池 康雄(ちば山の会)

「NPO法人ちば労山ゆう」の正会員・賛助会員のみなさん。

石巻市周辺や牡鹿半島では、瓦礫除去や漁業支援など多様な支援活動を行ってききましたが、物的な支援作業のほかに津波で破壊され地肌が剥き出し、荒涼とした集落風景のなかに、住民のみなさまに何か心に潤いを生むような活動はないだろうか?、と!

そこで、我が房総半島に穏やかな空気を広げる水仙の花を植えてみよう、この半島に特有の鹿の食害にも強いと聞いているし、と!

山門の屋根だけを残して荒廃とした景色ながら、地域の心のよりどころとなっている洞福寺にお話をしたところとても喜んでいただきました。

以後、お寺の法面などに多くの水仙を植えてきましたが、何と鹿君たちの脅威の食欲にはかないませんでした。和尚さんに金網を掛けていただいた部分は健在です。



洞福寺・法面への水仙・すすらんの植樹

その後、洞福寺は堂舎や庭園の復興がすみ地域の核としての形を整えつつありますが、これに応じ住民のみなさんの心のよりどころに、また、我々の活動のメルクマールとして、桜の植樹および記念碑の建立を行うことになり準備を進めてまいりました。

では、早速・・・

- 1、日時 2017.3.4 (土)～5 (日)
- 2、参加 56名
- 3、場所 石巻市牡鹿半島谷川浜洞福寺、金華山黄金山神社
- 4、宿泊場所
小湊浜：民宿石巻 “めぐろ”
：小湊浜：“あたご荘”
- 5、活動内容

・3月4日(土)洞福寺で桜植樹の集い
早朝、千葉と松戸から出発したバスは天候にも恵まれて順調に牡鹿半島谷川浜の海辺にほど近い洞福寺に到着。昨日から入っている先発隊により天幕や白布に覆われた記念碑や植樹の道具建てが進みつつありました。

もちろん先発隊は大忙しですが、とても大勢の地元の方々が準備作業に関わっているのに驚き、我々の試みが和尚さんや地元の方々にとって大きな意味のあることなんだな、と感じました。

支援に入った漁家のお孫さんたちも勢ぞろいしてそれはそれは賑やかなお祭りになりました。

まず、庭園の東側に建つ記念碑の除幕式を行います。幕を引くのは漁家のお孫さんたちです。

“大震災を機に結ばれた

谷川浜と千葉の友情の記憶”

と刻まれた碑文は、余韻をもって未永く語られることになるでしょう。



現地の子供さんによる 除幕式

次に、先に植木職人さんによって11本の桜苗が植込まれており、一部の土掛けを残してありました。そこに参加者が施肥と覆土を施していきます。これらが成長して大樹になると、本堂から見て、前方の枝ぶりの良い松の背後を桜樹の大木が両翼を広げる “巖”と“華”の見栄えの良い風景になるでしょう。

寺の奥の高台には移転した谷川浜の住宅街があって、常にこの桜樹を眺めながら浜へ往来することになります。

この地域の養殖漁業も次第に震災前の水準に戻りつつあって、高台移転宅地の整備や港湾設備の復旧など大きな工事が随所に展開されているのを



桜の植樹

見ると、遅々とした歩みではありますが地域の生活の安定化を感じます。

・3月5日(日)金華山黄金山神社参拝とても良く晴れ、鮎川から乗り出す高速艇は踊るように水煙を引きました。

金華山は埠頭設備も新しく、観光用の斬新な建物を建築中で、もう往時の被害状況は感じにくくなっていますが、それでもアプローチの坂道脇では復旧工事が続いている震災被害の深さを感じさせています。

黄金山神社では庭を徘徊する鹿たちが観光客を迎えるのですが、鋭利な角を向けてくる牡鹿は今日は見当たりません。

すっかり顔見知りになった宮司さんが出迎えてくれて、急な石段を一緒に登り奥社の前で神社の由緒や、金華山と牡鹿半島間の水路が東西に割れて海底が現れ、映画「十戒」のごとき光景が現れたと、震災時のすさまじい光景を語ってくれ、また、震災以来7,000人を越えるボランティアが支援を続けてくれていると言います。

牡鹿半島を見る限り、復興の歩みはかなり遅ればせではありますが、コツコツと進んでいるようです。意外な部分にコンクリート壁が出現していて驚かされたりもしますが、宅地開発が進み民家建築の様子を見ると安心感が湧いてきます。反面、都市部ではむしろ復興の勢いが見えませんか。



記念碑

谷川浜・桜植樹の集い

千葉こまくさハイキングクラブ

宮本清

千葉駅前をマイクロバス 24 人満席で 6 時 30 分に出発、常磐道で新設の檜葉 PA で休憩、石巻市へ谷川浜の洞福寺には 14 時前には到着、松戸発 35 人の中型バスが少々遅れて到着し、14 時 30 分には植樹祭の集いが始まる。

洞福寺は新しい門も完成してあとは門につながる外塀工事が残っている。1 年前には門の屋根だけが残骸として残っていたが、その屋根が見事に新しい門に再生されて残っていたのが印象的だった。

来賓の挨拶で岡良一宮城県連理事長の「みちのく潮風トレイル」構想を整備する話など活発な活動状況を話された。

7 本のしだれ桜はすでに造園業者さんが植樹し、丁寧に鹿除け柵も取り付けられ、残り 4 本を参加者が植樹し、柵で囲んで完成させる。しだれ桜 10 本、ソメイヨシノ 1 本は来年の春には花が咲きそうである。最後に地元の子どもたちの手で記念石碑の除幕が行われ、記念撮影で式典が終了しました。



16 時過ぎには民宿にそれぞれ別れ、夕食時には自己紹介など新しい出会いがあり、楽しいひと時でした。20 時頃より民宿めぐりの合同懇親会では皆さんの芸に感動しました。最後は少し時間が足りなかった！19 時頃から始めればもっと盛り上がったのではと感じました。

スタッフの方々は大変だったと察しいたしました。皆さんの日頃の心がけが良かったのでしよう天候に恵まれ楽しいツアーでした。

谷川浜・桜植樹の集いに参加して

鈴木 佐代子 ふわくキングサークル

2017年3月4日（土）～5日（日）

最高の天候で洞福寺の植樹祭と牡鹿半島と金華山の素晴らしい思い出が出来ました。4日、NTT前定刻の6時30分出発、北関東自動車道～常磐道と進む、福島第1原発のある、帰還困難区域だった檜葉町から浪江町を通過、線量測定器の数値は0.1～3.5と高い、フレコンに詰まった汚染土の山が延々と続いて見えた。除染対策の田圃は綺麗だが、中身は分からない。帰還解除に成っても帰る人は少ないという。

堤防工事や町の復興が進む南相馬市から石巻市街は、ガレキは撤去されてもまだまだ。震災の傷跡が残ったまま、やっとスタートラインについたばかりの様です。牡鹿半島へ入り堤防の嵩上げ工事で、海が見えない道路を走り、谷川浜の近く新築の洞福寺に到着、先発の「労山ゆう」佐藤さん等が甘酒を作って歓迎してくれました。和尚さんや地元の漁師さんが家族と一緒に集まりセレモニーが行なわれました。皆様の熱い想いが聞かれました。

その後に記念碑の地元の孫子達で除幕式が行われました。“大震災を機に結ばれた谷川浜と千葉の友情の記憶”と書かれた碑文でした。

先に植えた水仙は鹿に食べられ柵で囲った処に咲いていました。桜の植樹は、11本残り5本は、予め植木屋さんが穴に桜の木は土を被せるだけでしたが、桜が、参加した子供達と生長し一緒に花見が出来るのも近いでしょう。

小浜の宿泊地は漁港近くで素晴らしい景色でした、わかめ採りが行われていました。民宿は、「めぐろ」と「あたご荘」に分かれて泊まりました。ふわくHCは「あたご荘」です、食事の後に自己紹介が行われ個人の存在を話しました。8時から全員で「めぐろ荘」に集合して交流会が行われ楽しい夜を過ごしました。

3月5日

素晴らしい天気、鮎川浜から、高速船で金華山へ風も無く景色も最高でした。金華山では鹿が歓迎してくれました。松、桜、榎、萱、樺、樅、などの巨樹は、びっくりしました。帰りに、取れたばかりの、めかぶとワカメをお土産に頂きありがとうございました。今回の、企画のゆうや担当役員の皆様に感謝いたします。



民宿の豪華料理？ で乾杯



金華山にて

春の植樹デー

2017年

4月22日(土)・23日(日)

やわらかな春風とともに、22回目の植樹デーのご案内をいたします。みなさま、お元気でしょうか。

今年の植樹デーは、足尾ダムから見上げる戸四郎沢(昨年実施)を予定しています。植樹地はかなり上部となりますが、小さいお子さんや足に自信のない方のために、道路から近い場所も用意してありますので、安心してご参加ください。

22日には育てる会の応援歌「備前楯山」のシンガーソングライター・せきぐちゆきさん、23日には、毎年、体験植樹に参加してくれる県内のバンド、TRUE BLUE(BOOWY COPY BAND)のミニコンサートを開きます。また、間伐材を使った「マイ箸づくり」を22・23日の両日とも開きます。さらに、震災復興支援の海産物や、地元の名産品も出店を予定しています。

なお、昨年まで昼食ときにブタ汁を用意していましたが、都合により、今年は甘酒となりました。ご留意下さい。

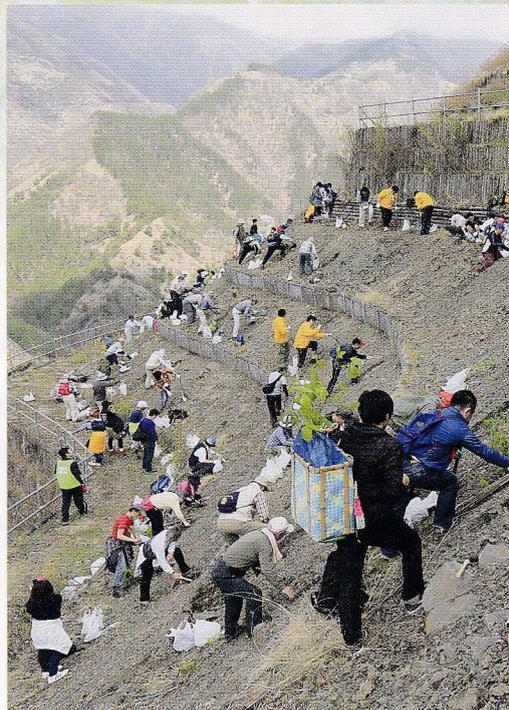
今年もみなさんのご参加をお待ちしています。



せきぐちゆきさん



TRUE BLUE



行動スケジュール

●日時 2017年4月22日(土)・23日(日) ご都合のいい日にご参加ください。

●作業 午前10時～12時 ※雨天決行

●集合 午前9時30分 銅親水公園 ※駐車場は足尾ダムの先です。

◎会員としてご協力いただける方は年会費の納入をお願いします。

◎わたらせ渓谷鉄道ご利用の場合は、終点間藤駅(9時到着)からの送迎をいたします。

◎会場までの道は狭いので、徐行運転にご協力ください。

●個人でご用意ください

飲料水/軍手/雨具/昼食

●用意できる人は持参してください

◎シャベルなどの用具は育てる会でも用意しますが、数に限りがありますので、用意できる人はご持参ください。

◎荷物は必ずリュックに入れて、両手はフリーの状態に登り降りしてください。ヘルメットをお持ちの方は着用してください。なお、道路から近い場所もあるので、家族連れの方もぜひご参加ください。

◎苗木を持参される方は、リュックに入る小さなものを用意してください。

ドングリの里親になってください

ドングリから芽が出たばかりの苗木(約20cm)をご家庭に持ち帰って育ててくれる里親を募集しています。ご家庭である程度育て、再び足尾の山に植えてください。両日とも無料配布します。



参加者募集!!

マイ箸づくり

栃木県産の間伐材(ヒノキ)を使って、自分だけのマイ箸づくりにチャレンジしよう。

日時: 4月22日・23日

12時30分～

(所要時間: 60～90分)

場所: 足尾環境学習センター

協力: エコ・ハウスたかねざわ

※予約は足尾環境学習センター

(TEL・FAX 0288-93-2525)

4月1日以降受付 各日先着40膳



交流会

日時 4月22日(土) 午後5時より

場所 足尾町・ラポール(通洞駅下車徒歩3分)

TEL 0288-93-3580

会費 3,000円

準備の都合がありますので、参加希望者は事前に事務局までご連絡ください。



今年の植樹地です!

ここが駐車場です!

ここが集合場所です!

かじか荘が改装中のため休業しています。

日光駅周辺からは車で30分くらいです。

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
発行責任者：広木 国昭

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」は、東日本大震災の支援を目的に、千葉県勤労者山岳連盟を母体としたNPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への問い合わせは千葉県連盟ホームページから「ちば労山ゆう」にお願いします
 - ◎ 「食べて復興支援」を合言葉に被災地・気仙沼直送の海産物の販売に取り組んでいます。
 - ・「おさしみわかめ」
 - ・「さしみこんぶ」
 - ・「くきわかめ」
 - ・「すき昆布」
 - ・「とろろこんぶ」
- 常時用意してあります。
下記に連絡をお願いします。
広木 国昭 Eメールアドレス
danphiro@zpost.plala.or.jp

編集後記

- ・3月16日（木）に実施した「県連理事会報告」は、ページ数の関係で5月号に掲載します。
- ・今月号は、谷川浜洞福寺での植樹祭の報告と感想が多くなりました。参加いただいた皆さんご苦労様でした、そして投稿をいただいた方々有難うございます。
- ・今月号は投稿が多くて助かりました。会の山行・行事・会自慢・耳よりの話等県連の仲間に紹介して下さい。
締め切りなどはありません。気が向いた時に送ってください。
- ・ちばニュースの内容、発行システム等の改善を検討しています。ご意見・要望をお寄せください。
- ・ちばニュースが、どれだけの会員に届いているのか気になっています。
印刷して配布、メール添付で配信、会のホームページ掲載等、各会の現状に合わせた方法で届けていると思います。しかし、会によっては会員に全く届いてない、届けられない現状が報告されています。
ちばニュースを「全会員に届け、読んでもらう」ための意見をお願いします。

—— 編集者 ——

県連活動予定表

5月		行事予定	4月		行事予定
1	月		1	土	
2	火		2	日	
3	水		3	月	
4	木		4	火	役員会
5	金		5	水	
6	土		6	木	
7	日		7	金	
8	月		8	土	雪上技術講習会(マチガ沢)
9	火	役員会	9	日	〃
10	水		10	月	
11	木		11	火	
12	金		12	水	
13	土		13	木	ゆう総会
14	日		14	金	
15	月		15	土	
16	火		16	日	
17	水		17	月	
18	木	理事会	18	火	
19	金		19	水	
20	土		20	木	理事会
21	日		21	金	
22	月		22	土	
23	火		23	日	
24	水		24	月	
25	木		25	火	
26	金		26	水	
27	土		27	木	
28	日		28	金	
29	月		29	土	
30	火		30	日	
31	水				

発行者：千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)
 発行責任者：広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで